第２学年　家庭科学習指導案

大東市立大東中学校

授業者　T1　学校栄養職員

T2　教科担当教諭

１．日　　時　：　令和 6年 11月 26日（ 火 ）第3時限　10時 45分～ 11時 35分

２．場　　所　：　第 2学年 2組教室（ 3階 ）

３．学年・組　：　第 2学年 2組（ 計40名 ）

４．単 元 名　：　家庭科「　災害時の食　」

５．単元目標

・災害時に必要な食品や備蓄品について学び、非常時に備える知識と技能を習得する。

(知識・技能)

・日常の食生活から備蓄品を確保して、健康を考えた上で、非常食セットを提案することができる。

(思考力・判断力・表現力等)

・災害時の課題について主体的に考え、解決しようとしている。

(主体的に学習に取り組む態度)

６．食育の視点

正しい知識・情報に基づいて、食品の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。(食品を選択する能力)

７．指導計画　(全１時間(本時))

非常食について学び、非常時（災害時）に必要となる非常食セットを提案する。

８．生徒観

個人情報が含まれるため削除

９．教材観

日本では、台風や地震の発生によって大きな被害をもたらす可能性が高くなっている今日、われわれの日常生活で災害は避けて通られないことである。大きな災害が起きた際、電気・ガス・水道・通信・交通などのライフラインが復旧するには、一般的に３日間といわれている。本教材により、非常時に備える意識を高めるきっかけとなることが期待できる。

１０．指導観

　指導にあたっては、ニュース映像や写真を活用し、災害時のイメージを膨らませる。常備する食材を学ばせるために、非常食のアルファ化米を試食することで、さらに現実味をもたせる。また、理想の非常食セットを考えさせることにより、健康をも考えた上での非常時に備える意識を育てたい。

１１．本時の展開

（１）本時の目標

・災害時に必要な食品や備蓄品について学び、非常時に備えることができる。

・日常の食生活から備蓄品を確保して非常食としてのセットを提案することができる。

（２）準備物

ニュース映像や写真等の資料・パワーポイント・クイズ・非常食のサンプル・栄養成分表・アルファ化米・生徒用タブレット端末・アンケート

（３）本時の学習

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 主な学習内容 | 指導上の留意点（◆予想される生徒の姿） | 評価基準 |
| (導入)  7分  (展開)  5分  10分  (まとめ)  15分  10分  3分 | 1.災害に遭った時のイメージをする。  2.クイズ形式で、災害時の備蓄品について考える。  3.非常食について説明しアルファ化米を試食する。  (教員があらかじめ炊いておく)  4.生活班で理想の非常食セットを提案する。  5.交流（スライドを見て、自分たち以外の生活班で、最も理想的な提案をした生活班を一つ選び、コメントをFormsに入力する）  6.ふりかえりをFormsに入力する。 | めあて：オリジナルの非常食セットを考え、提案する。  ○ニュース映像や写真などを活用し、災害時の状況を具体的に伝える。  ○最近の災害ニュースを紹介し、災害時の食料の重要性を再認識させる。  （地震による火災の映像が流れることについて、見たくなければ見なくていいことを伝える。）  ◆突然の災害に遭った時のイメージができる。  ○Q1.停電時、どうやってご飯を炊く？  Q2.水はどれくらい必要？  Q3. 地震でお皿が割れたら、どうやってごはんを食べる？  ◆食材以外に必要な常備品がイメージできる。  ○非常食の種類（缶詰、レトルト食品、アルファ化米など）を紹介する。  ○栄養バランスの取れた非常食の選び方を、ローリングストックを踏まえて解説し、非常食セットを提案する際の要点として理解させる。  ○アルファ化米の特徴（軽量、長期保存可能、調理が簡単）を説明し試食する。  〇理想の非常食セットを考え、要点を入れたパワーポイント(スライド)を共同編集で作成する。  〇共同編集したパワーポイント(スライド)を投影し、要点を説明しながら提案させる。  〇授業で習った内容の問いに解答させる。  〇授業で学んだことや感想を振り返らせる。 | (主体的に学習に取り組む態度)  (知識・技能)  (主体的に学習に取り組む態度)  (知識・技能)  (思考力・判断力・表現力等)  (思考力・判断力・表現力等) |